

第9回スクリーニング学研究会における当社の発表について

当社は、2018年11月30日(金)に開催される第9回スクリーニング学研究会においてポスター発表を行いますので、お知らせいたします。

スクリーニング学研究会は、スクリーニングとその周辺に関連する「科学・技術」に携わる研究者を主体として、産学官問わず各々の所属する組織の枠組みを超えて、可能な限りの情報交換・意見交換を通じて、この分野の発展と同時にそれぞれの立場で社会に貢献することを目的とした研究会です。

本研究会におきまして、当社は、心筋細胞デバイスSCAD-MT™ cardiomyocyteならびに神経細胞デバイスSCAD-MT™ neuronの毒性/安全性試験ならびに薬理試験における応用について発表します。

【研究会基本情報並びに当社発表について】

公式HP: <https://screenology.org/>

日時: 2018年11月30日(金)

場所: タワーホール船堀(東京都江戸川区)

当社ポスター発表:

- ・ 演題: “3D-Cell Device with Aligned and Multilayered Tissues for Predictive Drug Safety Applications”

当社は、今後も技術と製品の改良に努めるとともに、研究開発成果並びに製品情報に関する情報発信を積極的に行うことで、「幹細胞がもたらす健康社会の実現」に向けた貢献を進めてまいります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【株式会社幹細胞 & デバイス研究所(SCAD)について】

株式会社幹細胞 & デバイス研究所(Stem Cell & Device Laboratory, Inc. 略称 SCAD)は、多能性幹細胞関連技術とナノテクノロジー/マイクロエンジニアリングに強みを持つ京都大学発のベンチャー企業です。

当社は、2014年の設立以来、心筋、神経等の細胞デバイスの開発・製造・販売を行っています。緻密に配向制御したナノファイバー上で培養することで多数の細胞を一方向に配列させ、実際の生体内組織に類似した三次元多層構造を自律的に形成させることができます。この当社のコア技術により作製される各種細胞デバイスは高い成熟性と機能性を有することが示されております。

当社は先進的な細胞製品とそれを用いた評価系の提供を通じて、世界中の病気で苦しむ人々に一刻でも早く新薬を送り届けられるように、創薬プロセスの高度化と効率化に貢献することを使命として、技術開発と事業化に取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社幹細胞 & デバイス研究所 管理部門 千秋

TEL: 075-744-1114; E-mail: scad.info@scad-kyoto.com